

# 災害と社会

# 公開シンポジウム 2022

2022年

日時

12月17日 土

13:15 ~ 16:45

場所

名古屋大学  
環境総合館 レクチャーホール

＋  
オンライン配信

申込み <https://forms.gle/twyPjmkzezbPbTBzP6>



ハイブリッド  
形式での  
開催!

自然災害が社会問題だということは半ば常識になっていますが、なぜか災害の発生因に関する議論においては、社会的な観点が見落とされがちです。しかし、同じようなハザードであっても、その災害としての立ち現れ方は社会の仕組みによって大きく異なってきます。このシンポジウムでは、モンゴル・インドネシア・日本における災害対策の取り組みをとらえて、このことを具体的に議論します。またそれを踏まえて、災害の発生を社会の問題としてとらえる観点から、減災社会を構想する糸口を探ります。

挨拶 檜山 哲哉 教授 名古屋大学宇宙地球環境研究所  
名古屋大学フューチャー・アース研究センター長

第1部

趣旨説明：自然と社会との二分論を超えて

高橋 誠 教授 名古屋大学大学院環境学研究科

モンゴルのゾド — 天災か人災か

篠田 雅人 教授 名古屋大学大学院環境学研究科

インドネシアにおける Covid-19 対応：法と政策

島田 弦 教授 名古屋大学大学院国際開発研究科

南海トラフ地震の社会学 — 東日本大震災後の高知

室井 研二 准教授 名古屋大学大学院環境学研究科

第2部

コメント：医学史の観点から

金澤 玲子 准教授 名古屋大学大学院国際開発研究科

コメント：河川工学の観点から

中村 晋一郎 准教授 名古屋大学大学院工学研究科

第3部

パネルディスカッション

共催

名古屋大学大学院環境学研究科

名古屋大学大学院国際開発研究科

アジアの多様な地域で、  
減災社会を目指す。